


がんサバイバーシップ市民参加型教育啓発事業 2017年度「ご当地カフェ」の採択結果

「ご当地カフェ」とは、患者・家族・企業関係者・行政関係者・一般市民など、さまざまな背景の参加者が集い、がんサバイバーシップ（がん体験を持ち、社会生活を続けること全般）に関わるトピックに関する講演と小グループの話し合いを通じて、がんと暮らしについて考える学習イベントです。首都圏以外の場所において、国立がん研究センターがん対策情報センターがんサバイバーシップ支援部と開催地の医療機関が共同開催することを原則としています。平成25年度から全国各地で開催してきましたが、昨年度から共催医療機関を公募制とし、平成29年度も共催医療機関を募集いたしました。

今年度は4団体から応募があり、国立がん研究センター内で組織する評価委員会の書類審査により下記の2つの開催地を採択することとなりました。

採用開催地	応募団体名
ご当地カフェ in 青森	青森県立中央病院 緩和ケアセンター
ご当地カフェ in 福井	福井県済生会病院 集学的がん診療センター

(敬称略)

これらの企画の開催日等の詳細や終了報告に関しては、順次がんサバイバーシップを学ぶ・語る「公民館カフェ」「ご当地カフェ」「がんサバイバーシップオープンセミナー」にてお知らせいたします。